

注3

大学番号：国075

[平成28年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

意見伺い

佐賀大学 芸術地域デザイン学部

注2

## 【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人佐賀大学  
平成29年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 総務部企画評価課

職名・氏名 副課長 エサキ 江崎 ヒロシ 浩

電話番号 0952-28-8812

（夜間） 0952-28-8812

F A X 0952-28-8118

e-mail kihyo@mail.admin.saga-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学新設の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 芸術地域デザイン学部

＜芸術地域デザイン学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	24
6. 留意事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	37

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 佐賀大学

## (2) 大学名

佐賀大学

## (3) 大学の位置

〒840-8502  
佐賀県佐賀市本庄町1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ミヤザキ コウジ) 宮崎 耕治 (平成27年10月)		
学部長	(コサカ サトコ) 小坂 智子 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
芸術地域デザイン学部 芸術地域デザイン学科  学士(芸術) 学士(地域デザイン)	美術関係 経済学関係	4年	110人	3年次 5年次	450人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	110 ( ) [ ]	-	110 ( ) [ ]	-	( ) [ ]	-	( ) [ ]	-	1.04倍	
志願者数	543 ( ) [ ]	-	486 ( ) [ ]	-	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	432 ( ) [ ]	-	382 ( ) [ ]	-	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	130 ( ) [ ]	-	122 ( ) [ ]	-	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	115 ( ) [ ]	-	116 ( ) [ ]	-	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.04		1.05							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	115 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	116 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )					
2年次	/		115 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )					
3年次	/		/						
4年次	/		/		/				
計	115 [ - ] ( - )		231 [ - ] ( - )						

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	115 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	116 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00% %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		% %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		% %
合 計	231 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<芸術地域デザイン学部 芸術地域デザイン学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部 共通科目	地域デザイン基礎（デザイン）	1前	2			8	5				共同
	地域デザイン基礎（マネジメント）	1前	2			5	1				共同
	地域デザイン基礎（フィールドワーク）	1前	2			10	3				共同
	芸術表現基礎（絵画）	1前	2			4	3				共同
	芸術表現基礎（彫刻）	1前	2			3	2				共同
	芸術表現基礎（工芸）	1前	2			3	2 3	1			共同 専任教員の数を記載する際、記載欄を誤ったことによる修正（29）
	デザイン発想論	1後	2			1	1				オムニバス・共同（一部）
	デジタル表現基礎	1後	2			1	1				
	職業キャリア論	1後	2			1					
	流通論	1前		2		1					
	アートマーケティング	1後		2		1					
	知的財産権学	2前	2								兼1
	文化経済論	1後		2		1					
	アートマネジメント	1前		2			1				
	地域再生デザイン学	2後		2		1					
	比較オリエンタリズム研究	1後		2		1					
	Key Concepts in Art（キーコンセプトインアート）	1後		2			1				
	アートと科学	2・3前		2		1					
	芸術文化・地域創生論（国内外地域プロジェクト事例研究）	2後	2				1				
	有田キャンパスプロジェクト	3通		6		3	1	1			共同
地域創生フィールドワーク	3通		6		9	6	2			共同	
国内外芸術研修	3通		4		3	2				共同	
コース 基礎科目	芸術表現A（日本画）	1後	2				1				
	芸術表現A（西洋画）	1後	2				1				
	芸術表現A（彫刻）	1後	2			1					
	芸術表現B（窯芸）	1後	2			1					
	芸術表現B（染色工芸）	1後	2				1	1			専任教員の数を記載する際、記載欄を誤ったことによる修正（29）
	芸術表現B（漆・木工芸）	1後	2				1				
	美術史基礎	1後		2		1					
	工芸理論	2・3前		2		1					
	現代美術概論	2・3後		2		1					隔年
	美術品流通論	2後	2			1					
	デザイン基礎	2後	2			1	1				オムニバス・共同（一部）
	図法	2前	2					2			
	材料学	2後	2			1					
	コース 専門科目（芸術表現コース） コース 選択科目	日本画概論	2・3後		2			1			
西洋画概論		2・3前		2			1				隔年
彫刻概論		2・3前		2		1					隔年
染色工芸概論		2・3前		2			1	1			隔年 専任教員の数を記載する際、記載欄を誤ったことによる修正（29）
漆・木工芸概論		2・3後		2			1				隔年
陶磁史		2後		2							兼1
窯芸基礎		2後		2		1		1			オムニバス
日本画基礎		2・3後		2			1				隔年
西洋画基礎		2・3前		2			1				隔年
彫刻基礎		2・3前		2		1					隔年
染色工芸基礎		2・3前		2			1				隔年
漆・木工芸基礎		2・3後		2			1				隔年
ミクストメディア基礎		2・3後		2		1					隔年
製図		2前		2							兼1
日本画I a		2・3前		4			1				隔年
日本画I b		2・3前		4			1				隔年
日本画II a		2・3後		4			1				隔年
日本画II b		2・3後		4			1				隔年
日本画III a		3後		2							兼1 隔年 集中
日本画III b		3後		2							兼1 隔年 集中
西洋画I a	2・3前		4			1				隔年	
西洋画I b	2・3前		4			1				隔年	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
	西洋画Ⅱa	2・3後		4			1					隔年	
	西洋画Ⅱb	2・3後		4			1					隔年	
	西洋画Ⅲa	3後		2							兼1	隔年 集中	
	西洋画Ⅲb	3後		2							兼1	隔年 集中	
	彫刻Ⅰa	2・3前		4		1						隔年	
	彫刻Ⅰb	2・3前		4		1						隔年	
	彫刻Ⅱa	2・3後		4		1						隔年	
	彫刻Ⅱb	2・3後		4		1						隔年	
	彫刻Ⅲa	3前		2							兼1	隔年 集中	
	彫刻Ⅲb	3前		2							兼1	隔年 集中	
	ミクストメディアⅠa	2・3前		4		1						隔年	
	ミクストメディアⅠb	2・3前		4		1						隔年	
	ミクストメディアⅡa	2・3後		4		1						隔年	
	ミクストメディアⅡb	2・3後		4		1						隔年	
	ミクストメディアⅢa	3後		2							兼1	隔年 集中	
	ミクストメディアⅢb	3後		2							兼1	隔年 集中	
	視覚伝達デザインⅠ	2前		2			1						
	視覚伝達デザインⅡ	3前		2			1						
	視覚伝達デザインⅢ	3後		2			1						
	コンテンツデザインⅠ	2後		2				1					
	映像デザインⅠ	2前		2		1							
	情報デザインⅠ	2後		2				1					
	コミュニケーションデザイン論	2・3前		1							兼1	隔年 集中	
	コミュニケーションデザイン演習	2・3前		1							兼1	隔年 集中	
	地域ブランディング論	2・3前		1							兼1	隔年 集中	
	地域ブランディング演習	2・3前		1							兼1	隔年 集中	
	メディアアート論	2・3前		1							兼1	隔年 集中	
	メディアアート演習	2・3前		1							兼1	隔年 集中	
コース 専門科目（芸術表現コース）	コース 選択科目	染色工芸Ⅰa	2・3前	4				4		1		隔年 専任教員の数を記載する際、記載欄を誤ったことによる修正（29）	
		染色工芸Ⅰb	2・3前	4					1			隔年	
		染色工芸Ⅱa	2・3後	4					4		1	隔年 専任教員の数を記載する際、記載欄を誤ったことによる修正（29）	
		染色工芸Ⅱb	2・3後	4						1		隔年	
		染色工芸Ⅲa	3前	2								兼1	隔年 集中
		染色工芸Ⅲb	3前	2								兼1	隔年 集中
		漆・木工芸Ⅰa	2・3前	4					1				隔年
		漆・木工芸Ⅰb	2・3前	4					1				隔年
		漆・木工芸Ⅱa	2・3後	4					1				隔年
		漆・木工芸Ⅱb	2・3後	4					1				隔年
		漆・木工芸Ⅲa	2・3前	2								兼1	隔年 集中
		漆・木工芸Ⅲb	2・3前	2								兼1	隔年 集中
		応用木工芸	2・3前	2						1			
		金属工芸Ⅰa	2・3前	2								兼1	隔年 集中
		金属工芸Ⅰb	2・3前	2								兼1	隔年 集中
		金属工芸Ⅱa	2・3後	2								兼1	隔年 集中
		金属工芸Ⅱb	2・3後	2								兼1	隔年 集中
		陶磁マーケティング	3前	2				1					
		陶磁器産業論	3後	2				1					
		釉薬化学概論	2前	2								兼1	
		セラミック原料化学	2前	2				1					
		セラミック焼成	2後	2				1					
		衣食住文化論	2・3前	2								兼3	隔年 オムニバス
		世界の中の肥前陶磁器	2後	2								兼1	
		食と器	2・3前	2								兼2	隔年 オムニバス
		陶磁特別演習Ⅰ	2・3後	2								兼1	隔年 集中
		陶磁特別演習Ⅱ	2・3後	2								兼1	隔年 集中
		陶磁成形技法Ⅰ	2前	2							1		
		陶磁成形技法Ⅱ	2後	2							1		
		陶磁成形技法Ⅲ	3前	2				1			1		オムニバス
		陶磁技法特別演習	2・3前	2								兼1	隔年
		装飾技法Ⅰ	2前	2								兼1	
		装飾技法Ⅱ	2後	2								兼1	
装飾技法Ⅲ	3前	2								兼1			
装飾技法特別演習	2・3後	2								兼1	隔年		
ロクロ成形Ⅰ	2前	2							1				
ロクロ成形Ⅱ	2後	2							1				
ロクロ成形Ⅲ	3前	2							1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					備考
			必修	選択	択目	自由		教授	准教授	講師	助教	助手	
コース専門科目（芸術表現コース）	石膏型成型Ⅰ	2前		2					1				
	石膏型成型Ⅱ	2後		2					1				
	石膏型成型Ⅲ	3前		2					1				
	石膏型成型特別演習	2・3後		2								兼 1 隔年	
	釉薬化学Ⅰ	2前		2								兼 1	
	釉薬化学Ⅱ	3後		2			1						
	セラミック科学演習	3前		2			1						
	セラミック科学実験	3前		2			1						
	唐津焼演習	2・3前		2			1					兼 1 共同	
	CAD/CAMⅠ	3前		2								兼 1	
	CAD/CAMⅡ	3後		2								兼 1	
	コース基礎科目	博物館概論	1後	2				1					
ランドスケープ		1後	2				1						
地域再生論		2前	2				1						
ヘリテージマネジメント論		2前	2				2						
地域マネジメント論		3前	2				1						
社会政策		2前		2			1						
コミュニティビジネス		2前		2			1						
美術史基礎		1後		2			1						
Intercultural Communication and ArtⅠ（インターカルチュラル・コミュニケーションとアートⅠ）		2後		2				1					
地域情報マネジメント演習		2前		2			1						
フィールドデザイン演習Ⅰ		2後		2			1						
エリアスタディ演習Ⅰ		2後		2			1						
経営・流通演習Ⅰ		2後		2			1						
経営・流通演習Ⅲ		2後		2			1						
コンテンツデザインⅠ		2後		2				1					
視覚伝達デザインⅠ		2前		2			1						
映像デザインⅠ		2前		2			1						
情報デザインⅠ	2後		2				1						
コース専門（地域デザインコース）	キュレイトング基礎	2前		2				1					
	博物館経営論	2前		2			1						
	博物館資料論	2後 2前		2				1				教育効果の充実のため、配当年次を変更（29）	
	博物館展示論	2後		2			1						
	博物館資料保存論（芸術と倫理を含む）	2前 2後		2				1				教育効果の充実のため、配当年次を変更（29）	
	博物館情報・メディア論	2後		2				1					
	博物館教育論	2後		1								兼 2 オムニバス・共同（一部）	
	博物館学内実習	1後		2			2	1				兼 1 オムニバス・共同（一部）	
	博物館学外実習	3前		1			2	1				兼 1 共同 集中	
	美術史Ⅰ	2前		2			1						
	美術史Ⅱ	2後		2			1						
	美術史Ⅲ	3前		2				1					
	美術史演習	2後		2			1						
	工芸理論	2・3前		2			1						
	キュレーター実務実践演習	2後		2				1					
	キュレイトング応用Ⅰ	2前		2			3						オムニバス・共同（一部）
	キュレイトング応用Ⅱ	2後		2				2					オムニバス・共同（一部）
	アートプロデュース論	2前		2				1					
	アートマネジメント特別講義	3前		2								兼 1 隔年 集中	
	アートプロデュース演習Ⅰ	2後		2				1					
	アートプロデュース演習Ⅱ	3前		2				1					
	考古学Ⅰ	2前		2			1						
	考古学Ⅱ	2後		2			1						
	考古学Ⅲ	2前		2								兼 1 集中	
	考古学演習Ⅰ（古代以前）	2前		2			1						隔年
	考古学演習Ⅱ（中世・近世）	3前		2			1						隔年
	考古学実習Ⅰ（室内）	2後		2			1						
考古学実習Ⅱ（野外）	3前		2			1							
コンテンツデザインⅡ	3前		2				1						



(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 27	科目 200	科目 0	科目 227	科目 27	科目 200	科目 0	科目 227	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{227} = \boxed{0.00}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

## 2 授業科目の概要

<学部共通 教養教育科目>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学入門科目	大学入門科目Ⅰ	1前	2			1						兼6
	大学入門科目Ⅱ	1後	2			1						兼24 学内調整による担当教員見直し (29) 兼43 学内調整による担当教員見直し (28) 兼4 教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止 (28)
共通基礎科目	外国語科目											
	英語A	1前	1			1		1				兼3 兼5 学内調整による担当教員見直し (28) 兼2
	英語B	1後	1					1				兼2 学内調整による担当教員見直し (29) 兼6 学内調整による担当教員見直し (28) 兼1
	英語C	2前	1				2					兼3 学内調整による担当教員見直し (29) 学内調整による担当教員見直し (28)
	英語D	2後	1				2					兼3 兼2 学内調整による担当教員見直し (29) 兼3 学内調整による担当教員見直し (28)
	Intercultural English:Awakenings	1前		1				1				
	Integrated Speaking:Awakenings	1前		1				1				
	Intercultural English:Bridging	1後		1			1					学内調整による担当教員見直し (29)
	Integrated Writing:Awakenings	1後		1				1				
	Integrated Writing:Bridging	2前		1			1	1				学内調整により、担当教員見直し (28)
	English Test Success TOEFL I	2前		1			1					
	Integrated Speaking:Bridging	2後		1			1					兼1 学内調整による担当教員見直し (29)
	English Test Success TOEFL II	2後		1				1				学内調整による担当教員見直し (29)
	アカデミック・スピーチ A	1前		1								兼2 学内調整による担当教員見直し (29) 兼3 教育効果充実のため「日本語Ⅰ」を整理し開講 (28) 兼2
	アカデミック・スピーチ B	1前		1								学内調整による担当教員見直し (29) 兼3 教育効果充実のため「日本語Ⅰ」を整理し開講 (28)
	日本語Ⅰ	1前		2			1					兼1 教育内容充実のため、科目分割変更 (28)
	アカデミック・スピーチ C	1後		1								兼3 教育効果充実のため「日本語Ⅱ」を整理し開講 (28)
	アカデミック・スピーチ D	1後		1			1					兼2 教育効果充実のため「日本語Ⅱ」を整理し開講 (28)
	日本語Ⅱ	1後		2			1					兼1 教育内容充実のため、科目分割変更 (28)
	情報リテラシー科目											
情報基礎概論	1前	2										兼1
情報基礎演習Ⅰ	1前・1後	1										兼3 学内調整による担当教員見直し (28) 兼5 教育課程の見直しによる科目廃止 (28)
基本教養科目	自然科学と技術の分野											
	基礎数理の世界	1~2		2								兼1
	応用数理の世界	1~2		2								兼1
	物理の世界Ⅰ	1~2		2								兼1
	物理の世界Ⅱ	1~2		2								兼2 兼1 学内調整による担当教員見直し (29)
	実験物理学	未開講 1~2		2								兼1 隔年開講のため、開講せず (29)
	化学の世界A	1~2		2								兼2
	化学の世界B	1~2		2								兼1 学内調整による担当教員見直し (29)
	実験化学Ⅰ	1~2		2								兼2 学内調整による担当教員見直し (28)
	実験化学Ⅱ	1~2		2								兼2 兼7 兼6 隔年開講のため、開講せず (29)
	生物学の世界	未開講 1~2		2			1					兼1 学内調整による担当教員見直し (28)
	実験生物学	1~2		2								兼1 教育内容充実のため、科目追加 (28)
	地学の世界	1~2		2								兼1
	Breakthroughs in the Modern Age	1~2		2			1					

目	The Natural World	1~2				1					兼 1		
	情報科学の世界 I	1~2	2			1					兼 1 学内調整による担当教員見直し (28)		
	情報科学の世界 II	1~2	2			1					兼 2		
	機械工学の世界 A	1~2	2								兼 2		
	機械工学の世界 B	1~2	2								兼 1		
	電気電子工学の世界 A	1~2	2								兼 1		
	電気電子工学の世界 B	1~2	2								兼 1		
	都市と生活	1~2	2								兼 1		
	環境科学 II	1~2	2				1				兼 1		
	環境保全論 I	1~2	2								兼 2 教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止 (29)		
	環境保全論 II	1~2	2								兼 2 教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止 (29)		
	資源循環論 I	1~2	2								兼 4		
	資源循環論 II	1~2	2								兼 4 教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止 (29)		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基本 教養 科目	地域の環境-森・川・海を繋ぐ環境と暮らし	1~2		2								兼 1	
	わかりやすい機構学	1~2		2			1					兼 2 学内調整による担当教員見直し (28) 担当教員退職により、科目廃止 (28)	
	セラミックスの不思議	1~2		2								兼 1	
	21世紀のエネルギーと環境問題	1~2		2								兼 1	
	生物科学の世界 A	1~2		2								兼 2	
	生物科学の世界 B	未開講 1~2		2								兼 1 隔年開講のため開講せず (29)	
	生物科学の世界 C	1~2		2								兼 1	
	生物科学の世界 D	1~2		2								兼 1	
	栄養と健康の科学	1~2		2								兼 2	
	暮らしの中の生命科学	1~2		2								兼 1	
	生命科学の基礎 A	1~2		2				1				兼 1 兼 2	
	生命科学の基礎 B	1~2		2								兼 1 学内調整による担当教員見直し (28)	
	生命科学の基礎 C	1~2		2								兼 1	
	生命科学の基礎 D	1~2		2								兼 1	
	生命科学の基礎 E	1~2		2								兼 1 兼 3	
	生命科学の基礎 F	1~2		2								兼 2 学内調整による担当教員見直し (28)	
	自然科学と技術の分野特別講義	1~2		2								兼 1	
	文化の分野												
	ドイツの言語と文化 I	1~2		2				1				兼 1 教育内容充実のため、科目追加 (28)	
	ドイツの言語と文化 II	1~2		2					1			兼 1 教育内容充実のため、科目追加 (28) 兼 2 学内調整による担当教員見直し (29)	
	フランスの言語と文化 I	1~2		2				1				兼 1 教育内容充実のため、科目追加 (28) 兼 2 学内調整による担当教員見直し (29)	
	フランスの言語と文化 II	1~2		2				1				兼 1 教育内容充実のため、科目追加 (28) 兼 2 学内調整による担当教員見直し (29)	
	中国の言語と文化 I	1~2		2				1	1			兼 1 教育内容充実のため、科目追加 (28) 兼 2 学内調整による担当教員見直し (29)	
	中国の言語と文化 II	1~2		2				1	1			兼 1 教育内容充実のため、科目追加 (28) 兼 2 学内調整による担当教員見直し (29)	
	韓国・朝鮮の言語と文化 I	1~2		2				1				兼 1 教育内容充実のため、科目追加 (28)	
	韓国・朝鮮の言語と文化 II	1~2		2				1				兼 1 教育内容充実のため、科目追加 (28)	
	日本文学	1~2		2								兼 1	
	アジアの文化・文学	1~2		2				1	1			学内調整による担当教員見直し (28)	
	欧米の文化・文学	1~2		2					1			兼 1 兼 4 兼 4 学内調整による担当教員見直し (29)	
	芸術論	1~2		2				2				兼 5 学内調整による担当教員見直し (28)	
	画像へのアプローチ	1~2		2								兼 1	
	伝統工芸と匠	1~2		2				1				兼 1 学内調整による担当教員見直し (28) 兼 1	
	映像制作入門	1~2		2				1				兼 2 学内調整による担当教員見直し (29)	
	シルクロード入門	1~2		2				1				兼 1 学内調整による担当教員見直し (28)	
	日本語学	1~2		2					1			兼 1 学内調整による担当教員見直し (28)	
	言語学	1~2		2					2				
応用言語学	1~2		2					1	1		学内調整による担当教員見直し (28)		
コミュニケーション論	1~2		2								兼 1		
記号論	1~2		2								兼 1		
Critical Thinking for the Modern Age	1~2		2					1			兼 1 兼 1 学内調整による担当教員見直し (29)		



	衛生管理論	1~2	2							兼 1 兼 3 兼 3 兼 1 兼 2 兼 1 兼 3	教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止 (29) 学内調整による担当教員見直し (28)	
	高齢者・障がい者の生活・就労支援概論	1~2	2									
	高齢者・障がい者就労支援の諸理論	1~2	2									
	インストラクショナル・デザイン	1~2	2									
	現代社会の分野特別講義	1~2	2									
	総合科目											
	海外交流実習					1		1			兼 1 学内調整による担当教員見直し (29)	
	国際交流実習	1~2	2			+		0			兼 0 学内調整による科目名の変更及び担当教員見直し (28)	
	キャリアデザイン	1~2	2					+			兼 1	
	佐賀版キャリアデザイン	1~2	2			1					兼 1 学内調整による担当教員見直し (29)	
	グループワークの技法と実践	1~2	2						1		兼 2 教育内容充実のため、科目追加 (28)	
	チャレンジ・インターンシップA	1~2	1								兼 1 教育内容充実のため、科目追加 (29)	
	チャレンジ・インターンシップB	1~2	2								兼 1 教育内容充実のため、科目追加 (29)	
	外国人留学生用科目											
	日本事情 (自然科学と技術)	1~2	2			1					兼 1 学内調整による担当教員見直し (28)	
	日本事情 (文化)	1~2	2			1						
	日本事情 (現代社会)	1~2	2			+		1			学内調整による担当教員見直し (29)	
インターフェース科目	環境コース											
	機械工学と環境 I	2前	2								兼 3 兼 4	
	機械工学と環境 II	2後	2								兼 3 学内調整による担当教員見直し (28)	
	機械工学と環境 III	3前	2								兼 6 兼 7 学内調整による担当教員見直し (29)	
	機械工学と環境 IV	3後	2								兼 6 学内調整による担当教員見直し (28)	
	電気電子工学と環境 I	2前	2								兼 6 学内調整による担当教員見直し (29)	
	電気電子工学と環境 II	2後	2								兼 5 学内調整による担当教員見直し (28)	
	電気電子工学と環境 III	3前	2								兼 1	
	電気電子工学と環境 IV	3後	2								兼 1	
	有明海学 I	2前	2			1		1			兼 4	
有明海学 II	2後	2			+		+			兼 3 学内調整による担当教員見直し (29)		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教		助手
	有明海学 III	3前		2				+		+		兼 3 兼 4 学内調整による担当教員見直し (28)
	有明海学 IV	3後		2				1		1		兼 3
	地域環境の保全と市民社会 I	2前		2				+		+		兼 1 学内調整による担当教員見直し (28)
	地域環境の保全と市民社会 II	2後		2				1				兼 1 学内調整による担当教員見直し (28)
	地域環境の保全と市民社会 III	3前		2								兼 1 学内調整による担当教員見直し (29)
	地域環境の保全と市民社会 IV	3後		2				1				兼 2 学内調整による担当教員見直し (28)
	環境教育 I	2前		2								兼 1 学内調整による担当教員見直し (28)
	環境教育 II	2後		2						1		兼 1 学内調整による担当教員見直し (29)
	環境教育 III	3前		2						1		兼 9 学内調整による担当教員見直し (28)
	環境教育 IV	3後		2								兼 8 兼 7 学内調整による担当教員見直し (29)
	文化と共生コース											
	アジアの理解 I	2前		2								兼 7 学内調整による担当教員見直し (29)
	アジアの理解 II	2後		2								兼 9 学内調整による担当教員見直し (28)
	アジアの理解 III	3前		2								兼 8 兼 7 学内調整による担当教員見直し (29)
												兼 1 学内調整による担当教員見直し (28)
												兼 1 担当教員退職後の学内調整により、科目廃止 (28)
												兼 1 担当教員退職後の学内調整により、科目廃止 (28)
												兼 1 担当教員退職後の学内調整により、科目廃止 (28)

イ ン タ ー フ ェ ー ス 科 目	アジアの理解Ⅳ	3後	2						兼 2	担当教員退職後の学内調整により、科目廃止 (28)		
	芸術創造Ⅰ	2後	2						兼 1			
	芸術創造Ⅱ	2前	2						兼 7			
	芸術創造Ⅲ	3前	2						兼 5			
	芸術創造Ⅳ	3後	2						兼 6	学内調整による担当教員見直し (29)		
	異文化交流Ⅰ	2前後	2		1	1			兼 5	学内調整による担当教員見直し (28)		
	異文化交流Ⅱ	2前後	2		1	1			兼 6	学内調整による担当教員見直し (28)		
	異文化交流Ⅲ	3前	2		1	1			兼 1	学内調整による担当教員見直し (29)		
	異文化交流Ⅳ	3後	2		1	1			兼 2	学内調整による担当教員見直し (28)		
	男女共同参画とジェンダーⅠ	2前	2		1	1			兼 1	学内調整による担当教員見直し (29)		
	男女共同参画とジェンダーⅡ	2後	2		1	1			兼 2	学内調整による担当教員見直し (28)		
	男女共同参画とジェンダーⅢ	3前	2		1	1			兼 1	学内調整による担当教員見直し (28)		
	男女共同参画とジェンダーⅣ	3後	2		1	1			兼 2	学内調整による担当教員見直し (28)		
	Intercultural CommunicationⅠ	2前後	2		1	1			兼 1	学内調整による担当教員見直し (28)		
	Intercultural CommunicationⅡ	2前後	2		1	1			兼 1	教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止 (29)		
	Intercultural CommunicationⅢ	3前後	2		1	1			兼 1	教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止 (29)		
	Intercultural CommunicationⅣ	3前後	2		1	1			兼 2	学内調整による担当教員見直し (28)		
	映像・デジタル表現Ⅰ	2前	2		1	1			兼 1	教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止 (29)		
	映像・デジタル表現Ⅱ	2後	2		1	1			兼 1	学内調整による担当教員見直し (28)		
	映像・デジタル表現Ⅲ	3前	2		1	1			兼 2	学内調整による担当教員見直し (28)		
	映像・デジタル表現Ⅳ	3後	2		1	1			兼 5	学内調整による担当教員見直し (29)		
	肥前陶磁器産業体験Ⅰ	2前	2		1	1			兼 6	学内調整による担当教員見直し (29)		
	肥前陶磁器産業体験Ⅱ	2後	2		1	1			兼 3	学内調整による担当教員見直し (28)		
	肥前陶磁器産業体験Ⅲ	3前	2		1	1			兼 2	学内調整による担当教員見直し (29)		
	肥前陶磁器産業体験Ⅳ	3後	2		1	1			兼 5	教育内容充実のため、科目追加 (28)		
	ドイツの歴史・文化探究Ⅰ	2前	2		1	1			兼 2	学内調整による担当教員見直し (29)		
	ドイツの歴史・文化探究Ⅱ	2後	2		1	1			兼 5	教育内容充実のため、科目追加 (28)		
	ドイツの歴史・文化探究Ⅲ	3前	2		1	1			兼 5	教育内容充実のため、科目追加 (28)		
	ドイツの歴史・文化探究Ⅳ	3後	2		1	1			兼 5	教育内容充実のため、科目追加 (28)		
	フランスの歴史・文化探究Ⅰ	2前	2		1	1			兼 1	教育内容充実のため、科目追加 (28)		
フランスの歴史・文化探究Ⅱ	2後	2		1	1			兼 1	教育内容充実のため、科目追加 (28)			
フランスの歴史・文化探究Ⅲ	3前	2		1	1			兼 1	教育内容充実のため、科目追加 (28)			
フランスの歴史・文化探究Ⅳ	3後	2		1	1			兼 1	教育内容充実のため、科目追加 (28)			
日・中・韓の文化Ⅰ				1	1				兼 1	学内調整による担当教員見直し (29) 科目内容の見直しに伴う科目名変更 (29)		
中国の歴史・文化探究Ⅰ	2前	2		1	1				兼 1	教育内容充実のため、科目追加 (28)		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	日・中・韓の文化Ⅱ					1					学内調整による担当教員見直し (29) 科目内容の見直しに伴う科目名変更 (29)	
	中国の歴史・文化探究Ⅱ	2後	2			1	1				兼 1	教育内容充実のため、科目追加 (28)
	日・中・韓の文化Ⅲ										科目内容の見直しに伴う科目名変更 (29)	
	中国の歴史・文化探究Ⅲ	3前	2			1	1				兼 1	教育内容充実のため、科目追加 (28)
	日・中・韓の文化Ⅳ										科目内容の見直しに伴う科目名変更 (29)	
	中国の歴史・文化探究Ⅳ	3後	2			1	1				兼 1	教育内容充実のため、科目追加 (28)
	生活と科学コース											
	現代社会における消費Ⅰ	2前	2								兼 1	
	現代社会における消費Ⅱ	2後	2								兼 2	学内調整による担当教員見直し (29)
	現代社会における消費Ⅲ	3前	2								兼 1	
	現代社会における消費Ⅳ	3後	2								兼 3	

				1			兼 5
				4			兼 4 学内調整による担当教員見直し (29)
				1			兼 3 学内調整による担当教員見直し (28)
				1			兼 3 学内調整による担当教員見直し (28)
				1			兼 3 学内調整による担当教員見直し (28)
				1	1		兼 3 学内調整による担当教員見直し (28)
				1	1		兼 1
				1	1		兼 1 学内調整による担当教員見直し (29)
				2			兼 3 学内調整による担当教員見直し (28)
					2		兼 1
							兼 2 学内調整による担当教員見直し (29)
							兼 4
							兼 4
							兼 4
							兼 4
							兼 3 学内調整による担当教員見直し (28)
							兼 4
							兼 3
							兼 4 学内調整による担当教員見直し (28)
							兼 4
							兼 6
							兼 1
							兼 1
							兼 1
							兼 2
							兼 3
							兼 2 学内調整による担当教員見直し (28)
							兼 1
							兼 2 学内調整による担当教員見直し (29)
							兼 2
							兼 8 学内調整による担当教員見直し (28)
					2		兼 2 教育内容充実のため、科目追加 (28)
					1		教育内容充実のため、科目追加 (28)
					1		教育内容充実のため、科目追加 (28)
					1		教育内容充実のため、科目追加 (28)
					2		教育内容充実のため、科目追加 (28)
					1		兼 3 教育内容充実のため、科目追加 (28)
					1		兼 2 教育内容充実のため、科目追加 (28)
					1		兼 2 教育内容充実のため、科目追加 (28)
					1		兼 3 学内調整による担当教員見直し (29)
							兼 2 教育内容充実のため、科目追加 (28)
							兼 3 学内調整による担当教員見直し (29)
							兼 2 教育内容充実のため、科目追加 (28)
							兼 3 学内調整による担当教員見直し (29)
							兼 2 教育内容充実のため、科目追加 (28)
							兼 3 学内調整による担当教員見直し (29)
							兼 2 教育内容充実のため、科目追加 (28)
							兼 1
							兼 1
							兼 1
							兼 2 学内調整による担当教員見直し (29)
							兼 1
							兼 3
							兼 4 学内調整による担当教員見直し (28)
							兼 1
							兼 6
							兼 7 学内調整による担当教員見直し (29)
							兼 1
							兼 1
							兼 4
							兼 5 学内調整による担当教員見直し (29)
							兼 1 学内調整による担当教員見直し (28)
							兼 2
							兼 4 学内調整による担当教員見直し (28)
							兼 1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
											2		3後
イン タ ー フ ェ ー ス 科 目	障がい者就労支援Ⅰ	2前		2									兼 3 兼 4 学内調整による担当教員見直し (29)
	障がい者就労支援Ⅱ	2後		2									兼 2 学内調整による担当教員見直し (28)
	障がい者就労支援Ⅲ	3前		2									兼 4 兼 2 学内調整による担当教員見直し (29)
	障がい者就労支援Ⅳ	3後		2									兼 3 学内調整による担当教員見直し (28)
	地域・佐賀学コース												兼 4 学内調整による担当教員見直し (28)
	佐賀の歴史文化Ⅰ	2前		2									兼 1
	佐賀の歴史文化Ⅱ	2後		2		1							兼 1
	佐賀の歴史文化Ⅲ	3前		2									兼 1 学内調整による担当教員見直し (28)
	佐賀の歴史文化Ⅳ	3後		2		1							兼 1 学内調整による担当教員見直し (28)
	地域経済と社会Ⅰ	2前		2									兼 1
	地域経済と社会Ⅱ	2後		2									兼 1
	地域経済と社会Ⅲ	3前		2									兼 1
	地域経済と社会Ⅳ	3後		2									兼 1
	地域創成学Ⅰ	2前		2		1							兼 3 兼 2 学内調整による担当教員見直し (29)
	地域創成学Ⅱ	2後		2		1			1				兼 1 学内調整による担当教員見直し (29)
	地域創成学Ⅲ	3前		2									兼 2 学内調整による担当教員見直し (29)
	地域創成学Ⅳ	3後		2		1							兼 4 学内調整による担当教員見直し (29)
インターフェース演習科目												兼 3 学内調整による担当教員見直し (28)	
インターフェース演習	2～3		2		1							兼 2 学内調整による担当教員見直し (28)	
共通教 職科目	体育実技Ⅰ	1前・後		1					1				兼 3 兼 4 学内調整による担当教員見直し (29)
	体育実技Ⅱ	1前・後		1					1				兼 4

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
8	223	0	231	6	262	0	268	
				[ Δ2]	[ 39]	[ ]	[ 37]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	環境保全論Ⅰ	2	1~2	一般	選択	教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止
2	環境保全論Ⅱ	2	1~2	一般	選択	教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止
3	資源循環論Ⅱ	2	1~2	一般	選択	教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止
4	環境経営学	2	1~2	一般	選択	教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止
5	衛生管理論	2	1~2	一般	選択	教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止
6	男女共同参画とジェンダーⅠ	2	2前	一般	選択	教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止
7	男女共同参画とジェンダーⅡ	2	2後	一般	選択	教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止
8	男女共同参画とジェンダーⅢ	2	3前	一般	選択	教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止
9	男女共同参画とジェンダーⅣ	2	3後	一般	選択	教育課程および科目内容の見直しに伴う科目廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

選択科目の廃止については、別の科目の履修が可能なため、廃止の影響は小さいと考える。入学時に配付する「履修の手引き」により、周知徹底を図った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{9}{231} = \boxed{3.89} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	※大学全体 借地面積 16,055㎡ 借地面積 16,232㎡ 借地の見直しによる減 (28)			
	校舎敷地	319,891 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	319,891 ㎡				
	運動場用地	135,684 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	135,684 ㎡				
	小 計	455,575 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	455,575 ㎡				
	そ の 他	374,804 ㎡ 374,981 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	374,804 ㎡ 374,981 ㎡				
	合 計	830,379 ㎡ 830,556 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	830,379 ㎡ 830,556 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	※大学全体				
	154,880 ㎡ ( 154,880 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	154,880 ㎡ ( 154,880 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	※大学全体			
	90 室	138 室	579 室	18 室 (補助職員 一人)	5 室 (補助職員 一人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			定年退職者及び平成29年4月採用者がいるため (29)			
	芸術地域デザイン学部		24 27 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分を含む。(完成年度の予定数値は、除籍冊数を考慮) (29)	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点			
	芸術地域デザイン学部 芸術地域デザイン学科	745,567 [229,542]- 708,443 [223,552] -(716,721 -[224,170])- (709,688 [223,161])	11,889 [4,093]- 11,910 [4,096] -(11,871 -[4,096])- (11,810 [4,096])	11,682 [10,187]- 10,159 [8,906] -(12,045 -[10,291])- (10,159 [8,906])	3,964 2,750 -(3,477)- (2,690)	8,106 (6,372)	230 (230)		
計	745,567 [229,542]- 708,443 [223,552] -(716,721 -[224,170])- (709,688 [223,161])	11,889 [4,093]- 11,910 [4,096] -(11,871 -[4,096])- (11,810 [4,096])	11,682 [10,187]- 10,159 [8,906] -(12,045 -[10,291])- (10,159 [8,906])	3,964 2,750 -(3,477)- (2,690)	8,106 (6,372)	230 (230)			
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		※大学全体		
	7,643 ㎡		769 席		565,806 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	5,543 ㎡		陸上競技場, 野球場, テニスコート, 弓道場, プール						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費 交付金)による
		教員1人当たり研究費等	- 千円	- 千円	図書購入費	- 千円	- 千円	- 千円	
	共同研究費等	- 千円	- 千円	設備購入費	- 千円	- 千円	- 千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	佐賀大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
文化教育学部									
学校教育課程	4	—	—	—	学士 (学校教育)	—	平成9年度	佐賀県佐賀市本庄町1番地	平成28年より学生募集停止
国際文化課程	4	—	—	—	学士 (国際文化)	—	平成9年度	同上	平成28年より学生募集停止
人間環境課程	4	—	—	—	学士 (人間環境)	—	平成9年度	同上	平成28年より学生募集停止
美術・工芸課程 (学部共通)	4	—	3年次 20	—	学士 (健康福祉・ スポーツ) 学士 (美術・工芸)	—	平成9年度	同上	平成28年より学生募集停止
教育学部									
学校教育課程	4	120	—	480	学士 (学校教育)	1.04	平成28年度	佐賀県佐賀市本庄町1番地	
芸術地域デザイン学部									
芸術地域デザイン学科	4	110	3年次 5	450	学士 (芸術) 学士 (地域デザイン)	1.04	平成28年度	佐賀県佐賀市本庄町1番地	
経済学部									
経済学科	4	110	—	440	学士 (経済学)	1.04	平成25年度	佐賀県佐賀市本庄町1番地	
経営学科	4	80	—	320	学士 (経済学)	1.04	平成25年度	同上	
経済法学科	4	70	—	280	学士 (経済学)	1.03	平成25年度	同上	
医学部									
医学科	6	106	—	630	学士 (医学)	1.00	昭和53年度	佐賀県佐賀市鍋島五丁目1番1号	
看護学科	2	60	3年次 10	260	学士 (看護学)	1.00	平成5年度	同上	
理工学部									
数理科学科	4	30	—	120	学士 (理学)	1.01	平成9年度	佐賀県佐賀市本庄町1番地	
物理科学科	4	40	—	160	学士 (理学)	1.03	平成9年度	同上	
知能情報システム学科	4	60	—	240	学士 (理学)	1.05	平成9年度	同上	
機能物質化学科	4	90	—	360	学士 (理学)	1.03	平成9年度	同上	
機械システム工学科	4	90	—	360	学士 (工学) 学士 (工学)	1.03	平成9年度	同上	

電気電子工学科	4	90	—	360	学士 (工学)	1.03	平成9年度	同上	
都市工学科	4	90	—	360	学士 (工学)	1.01	平成9年度	同上	
(学部共通)			3年次 20	40		1.05			
農学部									
応用生物科学科	4	45	—	180	学士 (農学)	1.03	平成9年度	佐賀県佐賀市本庄町1番地	
生物環境科学科	4	60	—	240	学士 (農学)	1.05	平成9年度	同上	
生命機能科学科	4	40	—	160	学士 (農学)	1.05	平成9年度	同上	
(学部共通)			3年次 10	20		0.90			
【研究科】									
学校教育学研究科									
(専門職学位課程)									
教育実践探究専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.02	平成28年度	佐賀県佐賀市本庄町1番地	
地域デザイン研究科									
(修士課程)									
地域デザイン専攻	2	20	—	40	修士 (地域デザイン)	0.92	平成28年度	佐賀県佐賀市本庄町1番地	
教育学研究科									
(修士課程)									
学校教育専攻	2	6	—	12	修士 (教育学)	—	平成5年度	佐賀県佐賀市本庄町1番地	平成28年より学生募集停止
教科教育専攻	2	33	—	66	修士 (教育学)	—	平成5年度	同上	平成28年より学生募集停止
経済学研究科									
(修士課程)									
金融・経済政策専攻	2	4	—	8	修士 (経済学)	—	平成4年度	佐賀県佐賀市本庄町1番地	平成28年より学生募集停止
企業経営専攻	2	4	—	8	修士 (経済学)	—	平成4年度	同上	平成28年より学生募集停止
医学系研究科									
(修士課程)									
医科学専攻	2	15	—	30	修士 (医科学)	0.49	平成15年度	佐賀県佐賀市鍋島五丁目1番1号	
看護学専攻	2	16	—	32	修士 (看護学)	0.59	平成9年度	同上	
(博士課程)									
医科学専攻	4	25	—	105	博士 (医学)	1.02	平成20年度	同上	
工学系研究科									
(博士前期課程)									
数理科学専攻	2	9	—	18	修士 (理学)	0.99	平成22年度	佐賀県佐賀市本庄町1番地	

物理科学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.76	平成22年度	同上	
知能情報システム学専攻	2	18	—	36	修士 (理学)	1.10	平成22年度	同上	
循環物質化学専攻	2	27	—	54	修士 (理学)	1.11	平成22年度	同上	
機械システム工学専攻	2	28	—	56	修士 (工学)	1.13	平成22年度	同上	
電気電子工学専攻	2	27	—	54	修士 (工学)	1.03	平成22年度	同上	
都市工学専攻	2	24	—	48	修士 (工学)	1.12	平成22年度	同上	
先端融合工学専攻	2	36	—	72	修士 (学術)	1.06	平成22年度	同上	
(博士後期課程)									
システム創成科学専攻	3	24	—	72	博士 (学術)	0.74	平成22年度	同上	
					博士 (理学)				
					博士 (工学)				
農学研究科									
(修士課程)									
生物資源科学専攻	2	40	—	80	修士 (農学)	1.04	平成22年度	佐賀県佐賀市本庄町1番地	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<芸術地域デザイン学部 芸術地域デザイン学科>

### (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	田中一嘉生 ( )	平成28年4月	芸術表現基礎 ( <del>工芸</del> ) 芸術表現B ( <del>染色工芸</del> )						平成29年3月31日付定年退職
専	講師	鳥谷 さやか ( )	平成29年4月	芸術表現基礎 (工芸) 芸術表現B (染色工芸) 染色工芸基礎 染色工芸概論 染色工芸Ia 染色工芸Ib 染色工芸IIa 染色工芸IIb 地域創生 フィールド ワーク 卒業研究						
専	教授	富田 義典 ( )	平成28年4月	地域デザイン 基礎(マネジメント) 地域デザイン 基礎(フィールドワーク) 職業キャリア 論 社会政策 コミュニティ ビジネス 地域雇用政策 論 卒業研究						
専	教授	浅田 智子 ( )	平成28年4月	地域デザイン 基礎(マネジメント) 地域デザイン 基礎(フィールドワーク) 博物館概論 博物館学内実 習※ キュレイト ィング応用I※ 博物館経営論 博物館展示論 美術史II 国内外芸術研 修 博物館学外実 習 卒業研究						

専	教授	荒木 博申 ( )	平成28年 4月	芸術表現基礎 (絵画) 地域デザイン 基礎 (デザイン) デザイン発想 論※ 視覚伝達デザ インⅠ 視覚伝達デザ インⅡ 視覚伝達デザ インⅢ デザイン基礎 ※ デザインプロ ジェクト演習 ※ 地域創生 フィールド ワーク デザイン実践 セミナー※ 卒業研究						
専	教授	山下 宗利 ( )	平成28年 4月	地域デザイン 基礎 (デザイン) 地域デザイン 基礎 (フィー ルドワーク) 風土と地理学 フィールド ワーク実習 地域情報マネ ジメント演習 地域再生論 都市空間論Ⅰ 地域創生 フィールド ワーク 地域調査分析 都市空間論Ⅱ 卒業研究						
専	教授	西島 博樹 ( )	平成28年 4月	地域デザイン 基礎 (デザイン) 地域デザイン 基礎 (マネジ メント) 地域デザイン 基礎 (フィー ルドワーク) 芸術表現基礎 (工芸) 流通論 文化経済論 有田キャンパ スプロジェクト 地域創生 フィールド ワーク 陶磁器産業論 地域マネジメ ント論 経営・流通演 習Ⅲ 経営・流通演 習Ⅳ 卒業研究						
専	教授	柳 健司 ( )	平成28年 4月	芸術表現基礎 (絵画) 芸術表現基礎 (彫刻) 芸術表現基礎 (工芸) 現代美術概論 ミクストメ ディアⅠa ミクストメ ディアⅠb ミクストメ ディアⅡa ミクストメ ディアⅡb ミクストメ ディア基礎						

				地域創生 フィールド ワーク 卒業研究					
専	教授	中村 隆敏 ( )	平成28年4月	地域デザイン 基礎 (デザイン) 地域デザイン 基礎 (フィー ルドワーク) デジタル表現 基礎 映像デザイン I 映像デザイン II 地域創生 フィールド ワーク デザイン実践 セミナー※ 映像デザイン III 卒業研究					
専	教授	吉住 磨子 ( )	平成28年4月	芸術表現基礎 (絵画) 地域デザイン 基礎 (フィー ルドワーク) 美術史基礎 博物館学内実 習※ キュレйти ング応用I※ 美術史I 美術史演習 博物館学外実 習 国内外芸術研 修 卒業研究					
専	教授	赤津 隆 ( )	平成28年4月	地域デザイン 基礎 (マネジ メント) セラミック原 料化学 セラミック焼 成 材料学 有田キャンパ スプロジェク ト アートと科学 釉薬化学II セラミック科 学演習 セラミック科 学実験 卒業研究					
専	教授	田中 右紀 ( )	平成28年4月	芸術表現基礎 (絵画) 芸術表現基礎 (彫刻) 芸術表現基礎 (工芸) 芸術表現B (窯芸) 唐津焼演習 工芸理論 窯芸基礎※ 有田キャンパ スプロジェク ト 陶磁成形技法 III※ 卒業研究					
				地域デザイン 基礎 (デザイ ン) 地域デザイン					

専	教授	有馬 隆文 ( )	平成28年4月	基礎(フィールドワーク) ランドスケープ 都市・地域空間史 地域再生デザイン学 フィールドデザイン演習Ⅰ 地域創生 フィールドワーク フィールドデザイン演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	山崎 功 ( )	平成28年4月	地域デザイン基礎(デザイン) 地域デザイン基礎(フィールドワーク) 比較オリエンタリズム研究 ヘリテージマネジメント論 ※ キュレイトイング応用Ⅰ※ エリアスタディー演習Ⅰ 国内外芸術研修 博物館の政治学 エリアスタディー演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	徳安 和博 ( )	平成28年4月	芸術表現基礎(彫刻) 芸術表現A(彫刻) 彫刻Ⅰa 彫刻Ⅰb 彫刻基礎 彫刻概論 彫刻Ⅱa 彫刻Ⅱb 地域創生 フィールドワーク 卒業研究						
専	教授	重藤 輝行 ( )	平成28年4月	地域デザイン基礎(デザイン) 地域デザイン基礎(フィールドワーク) 文化財の保存と活用 考古学Ⅰ 考古学演習Ⅰ(古代以前) ヘリテージマネジメント演習 ヘリテージマネジメント論 ※ 考古学Ⅱ 考古学実習Ⅰ(室内) 地域創生 フィールドワーク 考古学演習Ⅱ(中世・近世) 考古学実習Ⅱ(野外) 卒業研究						
				地域デザイン基礎(デザイン) 地域デザイン						

専	教授	山口 夕妃子 ( )	平成28年4月	基礎 (マネジ メント) 地域デザイン 基礎 (フィー ルドワーク) アートマーケ ティング 美術品流通論 経営・流通演 習 I 地域創生 フィールド ワーク 経営・流通演 習 II 陶磁マーケ ティング ミュージア ム・マーケ ティング 卒業研究					
専	准教授	ホートン ステファニー ( )	平成28年4月	地域デザイン 基礎 (デザイ ン) 地域デザイン 基礎 (フィー ルドワーク) Key Concepts in Art Intercultural Communication and Art I Critical Studies in Language and Image I 国内外芸術研 修 Critical Studies in Language and Image II Intercultural Communication and Art II Art in Context Critical Studies in Language and Image III Intercultural Communication and Art III 卒業研究					
専	准教授	藤巻 美恵 ( )	平成28年4月	地域デザイン 基礎 (デザイ ン) 芸術表現基礎 (工芸) 博物館学内実 習※ キュレイティ ング基礎 博物館資料保 存論 (芸術と 倫理を含む) 博物館資料論 キュレーター 実務実践演習 キュレイティ ング応用II※ 国内外芸術研 修 博物館学外実 習 美術史III 卒業研究					
				地域デザイン 基礎 (デザイ ン) 地域デザイン 基礎 (マネジ メント) 地域デザイン 基礎 (フィー					

専	准教授	花田 伸一 ( )	平成28年 4月	ルドワーク) アートマネジ メント アートプロ デュース論 芸術文化・地 域創生論 (国内外地域 プロジェクト 事例研究) キュレイティ ング応用Ⅱ※ アートプロ デュース演習 Ⅰ 地域創生 フィールド ワーク アートプロ デュース演習 Ⅱ 卒業研究					
専	准教授	小瀬村 貴哉 ( )	平成28年 4月	芸術表現基礎 (絵画) 地域デザイン 基礎 (デザイ ン) デザイン発想 論※ コンテンツデ ザインⅡ デザイン基礎 ※ コンテンツデ ザインⅠ 有田キャンパ スプロジェク ト メディアプレ ゼンテーショ ン コンテンツデ ザインⅢ 卒業研究					
専	准教授	杉本 達應 ( )	平成28年 4月	地域デザイン 基礎 (デザイ ン) 地域デザイン 基礎 (フィー ルドワーク) デジタル表現 基礎 情報デザイン Ⅱ 情報デザイン Ⅰ デザインプロ ジェクト演習 ※ 博物館情報・ メディア論 地域創生 フィールド ワーク 情報デザイン Ⅲ 卒業研究					
専	准教授	小木曾 誠 ( )	平成28年 4月	芸術表現基礎 (絵画) 芸術表現基礎 (彫刻) 芸術表現 A (西洋画) 西洋画概論 西洋画Ⅰa 西洋画Ⅰb 西洋画基礎 西洋画Ⅱa 西洋画Ⅱb 地域創生 フィールド ワーク 卒業研究					
				芸術表現基礎					

専	准教授	石崎 誠和 ( )	平成28年4月	(絵画) 芸術表現A (日本画) 日本画I a 日本画I b 日本画概論 日本画II a 日本画II b 日本画基礎 地域創生 フィールド ワーク 卒業研究						
専	准教授	井川 健 ( )	平成28年4月	芸術表現基礎 (彫刻) 芸術表現基礎 (工芸) 芸術表現B (漆・木工 芸) 応用木工芸 漆・木工芸I a 漆・木工芸I b 漆・木工芸概 論 漆・木工芸II a 漆・木工芸II b 漆・木工芸基 礎 地域創生 フィールド ワーク 卒業研究						
専	講師	湯之原 淳 ( )	平成29年4月	陶磁成形技法 I 陶磁成形技法 II 地域創生 フィールド ワーク 陶磁成形技法 III※ 卒業研究						
専	講師	甲斐 広文 ( )	平成29年4月	図法 ロクロ成形I ロクロ成形II 有田キャンパ スプロジェクト ロクロ成形III 卒業研究						
専	講師	三木 悦子 ( )	平成29年4月	図法 石膏型成型I 窯芸基礎※ 石膏型成型II 地域創生 フィールド ワーク 石膏型成型III 卒業研究						
兼任	講師	甲斐 今日子 ( )	平成30年4月	衣食住文化論 ※						
兼任	講師	宮武 正登 ( )	平成30年4月	地域史演習※ 地域史論III						
兼任	講師	清原 奈美子 ( )	平成28年10月	博物館学内実 習※ 博物館学外実 習						
兼任	講師	栗山 裕至 ( )	平成29年10月	博物館教育論 ※						
兼任	講師	澤島 智明 ( )	平成30年4月	衣食住文化論 ※						
兼任	講師	伊藤 昭弘 ( )	平成29年4月	地域史論I※ 古文書解読演 習※						
兼任	講師	藤永 豪 ( )	平成30年4月	地域資源論						
兼任	講師	鬼嶋 淳 ( )	平成29年10月	地域史論II 地域史演習※						

兼任	講師	和田 学 ( )	平成29年10月	博物館教育論※						
兼任	講師	萱島 知子 ( )	平成29年 4月	衣食住文化論※ 食と器※						
兼任	講師	三ツ松 誠 ( )	平成29年 4月	地域史論 I ※ 古文書解読演習※						
兼任	講師	松隈 美紀 ( )	平成29年 5月	食と器※						辞任教員の後任（5月中に 就任予定）オムニバス科目
兼任	講師	野口一和子 <del>( )</del>	平成29年 4月	食と器※						家庭の事情により辞退
兼任	講師	青木 歳幸 ( )	平成29年 4月	アーカイブズ 論						
兼任	講師	平井 安雄 ( )	平成29年 4月	知的財産権学						
兼任	講師	板橋 廣美 ( )	平成29年10月	石膏型成型特別 演習						
兼任	講師	大橋 康二 ( )	平成29年10月	陶磁史						
兼任	講師	奥川 俊右衛 門（一俊） ( )	平成30年 4月	ロクロ特別演 習						
兼任	講師	有田 巧 ( )	平成30年10月	西洋画Ⅲa 西洋画Ⅲb						
兼任	講師	阿部 守 ( )	平成29年 4月	製図						
兼任	講師	前田 昭博 ( )	平成29年 4月	陶磁技法特別 演習						
兼任	講師	岩永 千穂子 ( )	平成29年 4月	装飾技法 I 装飾技法 II						
兼任	講師	山本 伸樹 ( )	平成30年10月	ミクストメ ディアⅢb						
兼任	講師	岡本 作礼 (憲次) ( )	平成29年 4月	唐津焼演習						
兼任	講師	千代田 憲子 ( )	平成30年 4月	染色工芸Ⅲa 染色工芸Ⅲb						
兼任	講師	福田 篤夫 ( )	平成31年10月	ミクストメ ディアⅢa						
兼任	講師	栗本 夏樹 ( )	平成29年 4月	漆・木工芸Ⅲa 漆・木工芸Ⅲb						
兼任	講師	宮田 洋平 ( )	平成29年10月	金属工芸Ⅱa 金属工芸Ⅱb						
兼任	講師	中尾 清一郎 ( )	平成29年10月	世界の中の肥 前陶磁器						
兼任	講師	辛 美沙 ( )	平成30年 4月	アートマネジ メント特別講 義						
兼任	講師	菅野 靖 ( )	平成29年 4月	金属工芸 I a 金属工芸 I b						
兼任	講師	今泉 今右衛門 ( )	平成29年10月	陶磁特別演習 I						
兼任	講師	水ノ江 和同 ( )	平成29年 4月	考古学Ⅲ						
兼任	講師	下川 一哉 ( )	平成29年 4月	地域ブラン ディング論 地域ブラン ディング演習						
兼任	講師	森山 朋絵 ( )	平成30年 4月	メディアア ート論 メディアア ート演習						
兼任	講師	松久 公詞 ( )	平成31年10月	日本画Ⅲa						
兼任	講師	副島 潔 ( )	平成30年 4月	CAD/CAM I CAD/CAM II						
兼任	講師	今野 朋子 ( )	平成29年10月	装飾技法特別 演習						
兼任	講師	千本木 直行 ( )	平成30年 4月	彫刻Ⅲa 彫刻Ⅲb						
兼任	講師	酒井田柿右衛 門 ( )	平成30年10月	陶磁特別演習 II						
兼任	講師	松尾 英之 ( )	平成29年 4月	釉薬化学概論 釉薬化学 I						
兼任	講師	倉成 英俊 ( )	平成29年 4月	コミュニケーション デザイン論 コミュニケーション デザイン演習						
兼任	講師	岩田 壮平 ( )	平成30年10月	日本画Ⅲb						
兼任	講師	長尾 正子 ( )	平成30年 4月	装飾技法Ⅲ						

(注) ・ 申請書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
11 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
15	8	4	0	27	15	8	4	0	27	15	8	4	0	27
(16)	(8)	(0)	(0)	(24)	△6		0		△4	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	1 0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
該当なし	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
該当なし	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
該当なし	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年8月)	<p>・本学部における「デザイン」と「地域デザイン」の定義について、デザインの定義が地域デザインの定義と同様に見受けられるため、設置の趣旨や人材養成像に照らして明確に整理すること。</p>	留意事項	<p>本学部における「デザイン」と「地域デザイン」の定義については、以下のように整理した。</p> <p>本学部において「デザイン」は単に造形的な作業を意味するのではなく、豊かで人間的な発想と実践的・効果的な方法論に基づき、目的を完遂するための実行に至る一連のプロセスを意味する。</p> <p>一方、「地域デザイン」とは、地域社会において新たな協働を構想し、それを設計構築していくこと、わかりやすく言えば、地域の資源と地域の文化的、歴史的、地理的特性を活かして、それを地域の活性化や地域創生に繋げていくことである。</p> <p>なお、地域デザインコースの養成する人材は、地域の有形無形の遺産や資料・資源をキュレーション（＝芸術、経営、科学などの知識やスキルを駆使して、地域の有形無形の遺産や資産を企画、管理、運営等すること）し、人、もの、場と繋げることによって、地域をデザインしていく人材である。（28）</p>
設 置 時 (27年8月)	<p>・本学部における経済・経営学分野については、芸術分野を補完する重要な分野と位置付けており、そうした教育課程の趣旨と人材養成像に照らすと、「流通」や「マーケティング」といった分野に加えて、「原価計算」などを含む幅広い「管理会計」の素養を身につけることも重要であるため、こうした科目を教育課程に盛り込むことが望ましい。これらを教育課程に盛り込むに際しては、本学部として独自に科目を追加することが困難であれば、学内の経済学部と連携して「他学部開講履修推奨科目」の中に加える対応でも構わない。</p>	その他意見	<p>本学部のカリキュラムには管理会計関係の科目を盛り込むことができなかったが、履修モデルに「地域経済論」、「都市経済論」などの経済学部開講の科目を他学部開講履修推奨科目として履修の手引き（資料1）に掲載するとともに、学部ホームページでも公開している。</p> <p>また、大学入門科目において、経済・経営学分野履修の重要性と基本教養科目として開講される「会計学」等の関連科目の履修推奨の説明を行った。</p> <p>今後も、教務委員会において、入学者の進路希望等を考慮したうえで、管理会計関係の科目を加えた履修モデルの充実を図る予定である。（28）</p>

<p>設置時 (27年8月)</p>	<p>・本学科における各コースについて、専攻を置かないことで各コースの特色が見えなくなることが懸念されるため、各コースの理念に沿った特色を明確にした上で、対外的に分かりやすく示していくことが望ましい。</p>	<p>その他意見</p>	<p>各コースの特色を明確にするために、学部としての方針の他に、コース別に入学者受け入れの方針、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針を作成し、学生募集要項(資料2)及び履修の手引きに掲載するとともに、学部ホームページでも公開している。</p> <p>芸術地域デザイン学部のホームページでは、各コース別の教育内容、さらには各コース内の分野の教育内容を掲載しており、各コースの理念に沿った特色を受験生、在校生、学外に分かりやすく示している。(28)</p>	
------------------------	--	--------------	---	--

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

## 7 その他全般的事項

<芸術地域デザイン学部 芸術地域デザイン学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐賀大学芸術地域デザイン学部に着く委員会等に関する規程(平成28年3月16日制定)に基づき、平成28年4月1日付で各種委員会を設置した。(規程等別添資料3及び4参照)(28)</li> </ul> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度学部新任教員研修会(H29.4.3開催,FD委員会主催,H29.4.1採用専任教員全員参加)</li> <li>・ 教務委員会(H28年度13回開催,教務員6名)</li> <li>・ FD委員会(H28.7.20科研究費申請に係るFD講演会/22人参加,H28.7.27入試FD講演会/20人参加,H29.2.1留学生教育に関わるFD講演会/19人,H29.3.21公正な研究活動の推進FD講演会/21人参加,他2回)</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教務委員会(審議事項等)学部の教務,教育実習,カリキュラムの改善,その他教務に関すること。</li> <li>・ FD委員会(業務)FD活動(大学の理念・目標及び教育内容・方法についての組織的な研究・研修をいう。)の円滑な実施を図る。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度学部新任教員研修会(H29.4.3開催)</li> <li>本学部新たに採用された教員を対象として,学部の管理運営,地域貢献・国際貢献,教務,学生・就職,研究,評価,FD,安全衛生,男女共同参画推進,ハラスメント等についての説明を実施。</li> <li>・ 平成28年度佐賀大学新任教員研修会(H28.5.10開催)</li> <li>佐賀大学新たに採用された教員を対象として,本学の現状と今後の展望,教員の役割などの本学の教育システムについての説明を実施。</li> <li>・ FD委員会</li> <li>上記の平成29年度学部新任教員研修会を主催。今後も定期的なFD講演会,研修会等を実施予定。</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <p>セミナー形式</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>H28.5.10平成28年度佐賀大学新任教員研修会(H27.6以降採用本学部専任教員全員参加)  H28.7.20科研究費申請に係るFD講演会/22人参加,H28.7.27入試FD講演会/20人参加,  H29.2.1留学生教育に関わるFD講演会/19人,H29.3.21公正な研究活動の推進FD講演会/21人参加</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ティーチング・ポートフォリオを利用した教育改善活動の推進</li> </ul> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>実施(各学期終了後に実施)</p> <p>b 教員や学生への公開状況,方法等</p> <p>ホームページ上で公開</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には,関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には,実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
設置の趣旨・目的については、当初設定したとおりに実現している。今後更に設置の趣旨・目的に沿った教育・研究の水準の向上を図ることとしている。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期  
・平成30年3月 公表予定
- b 公表方法  
・大学ホームページ上に公開予定（平成30年3月を予定）
- ③ 認証評価を受ける計画  
平成27年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構が実施する大学機関別認証評価を受審し、大学評価基準を満たしている旨の認定を受けた（平成28年3月24日付）。  
（次回受審スケジュールは未定）

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成29年 6月 1日公表予定 )